



# The Hitoyoshi Rotary

人 吉

## こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

通 算 2673回  
2011年9月9日  
第10回例会  
毎週金曜日

Reach within to  
Embrace Humanity

2011-2012年度 R I 会長  
カルヤン・バネルジー

会報編集 尾上暢浩副委員長

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②2171

◀ 例会場

事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎④6665 ☎④6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/>

[E-mail] [hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp](mailto:hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp)

### 9月新世代のための月間

点 鐘 宮原和広会長  
歌 唱 ツッパラー 馬場貞至SAA委員長  
国 歌 「君が代」  
R S 「それでこそロータリー」  
司会・進行 葉山稔洋プログラム委員長

### 会長の時間

宮原和広会長



台風12号は各地に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われました方々にお見舞い申し上げます。

9月6日(火)、石亭の館においてクラブ広報委員会、雑誌委員会、クラブ会報委員会の合同家庭集會が開催されました。各委員会、地区のスローガン「心機一転」に沿って、従来の委員会に変化を加えた意見が発表されました。広報委員会では昨年度同様、新年度の人吉RCホームページを作成し、新たに各会員のリンク集と、当クラブの資料室を増設されました。今後もIT化を充実していきたいとのことでした。雑誌委員会では、多くの会員に「ロータリーの友」を熟読していただくために、雑誌委員以外の新入会員の「ロータリーの友」見所紹介発表を計画し、ロータリー情報を理解して載せたいとのことでした。会報委員会では、週報に会員のミニ情報掲載の枠を思索したいとのこと。このように前向きな意見が発表され、今後の委員会活動が楽しみです。

本日はこの後、初めての試みであるテーブルミーティングが行なわれますので、活発な意見で討議をして戴き、会員相互関係を深め、今後のロータリー活動に役立つことを期待いたします。

### 幹事報告

馴田信治幹事



#### 【9月2日第5回定例理事会承認事項】

- ・人吉出身プロボクサー黒木優子さん人吉新聞広告掲載依頼について→承認
- ・9/30(金) ガバナー公式訪問、夜の懇親会について→承認
- ・観光カレンダー写真コンテスト表彰式日程について→10/14(金)例会で実施する

#### 【連絡事項】

- ◇2011-2012年度ロータリーの友英語版販売の案内が届いております。  
年1回11月発行1冊525円 10/14締切です。
- ◇2720地区本田光曠ガバナー、仙波地区リーダーシップ委員長より、「クラブ研修リーダー」選出のお願いが届いております。
- ◇2720地区ローターアクトより第27回年次大会登録の案内が届いております。  
日 時：平成23年10月8日(土)・9日(日)  
場 所：大分イベントホール 締切9/25
- ◇人吉新聞より県民体育祭の広告掲載のお願いが届いております。広報委員会へお渡しします。
- ◇熊本県青少年育成県民会議より、第33回「少年の主張」熊本県大会開催の案内が届いております。  
日 時：平成23年9月17日(土)午後1時~4時  
場 所：上天草市松島総合センター
- ◇人吉市教育長堀秀行氏より、第58回人吉球磨総合美展のポスター掲示及びチラシ配布の依頼が届いております。  
展示期間：10/29(土)~11/3(木)

#### 【例会変更】

- 熊本東南RC9/21→例会取止め
- 熊本西南RC9/22→例会取止め

【本日の回覧物】

人吉総合病院広報誌「翔」

指宿RC会報

【本日の配布】

人吉RC会報No.2672号

米山功労者マルチプル表彰  
有村隆徳会員



財団法人米山記念奨学会より有村隆徳会員へ、米山功労者マルチプル感謝状が届きました。

Multiple PaulHarris Fellow  
岩本泰典会員



ロータリー財団より岩本泰典会員へ、感謝の言葉とマルチプル・ポール・ハリス・フェローのラペルピンが届きました。

出席率報告

岩井和彦委員長

本日の出席率			
会員数	67名	71.88%	
出席免除	4名	8/26例会出席率	87.50%
欠席者数	17名	補填数	7名
出席者数	46名	修正出席率	98.44%

\*届け出欠席者

岩井・小林祐・戸高・石原・村山・小林清・牛島  
青木・外山・岩本光・片岡・友永・水野・井手  
尾上・釜田・堀

\*出席免除会員(a) 石蔵(b) 増田, 愛甲康, 山本  
メイクアップ

芦北RC例会; 中島  
宇土RC例会; 中川  
多良木RC例会; 宮原・馴田  
会員組織増強.分類.選考合同家庭集会; 尾方・有村  
広報.雑誌.会報合同家庭集会; 山田

第1回 テーブルミーティング

本日のテーマ

私のロータリーとは?

ロータリーの会員増強 (増と強)

ロータリーのここが疑問

知りたいこと・解らないこと (新会員)



グループ①～⑥

①赤池・中島

宮原・馴田・葉山・浅野・鳥井

②有村・大久保・尾方

北・平田・本田・片岡忠

③伊久美・高山・堤脩

山賀・渡辺・川越・大賀・永江

④中川・堤正

安達・山田・延岡・丸尾・有馬・馬場

⑤岩本泰・浦田・武末

塚本・岡・木村・立山・原田

⑥和田・宮山

山口・鳥越・板井・齊藤・永尾・漆野

討議20分間

各テーブルの進行; パスト会長

〃 発表(鳥井, 片岡忠, 永江, 馬場, 原田, 漆野)

テーマ1. 私のロータリーとは?

(パスト会長、ベテラン会員より)

- ・簡単に言うのはなかなか難しい。
- ・各自の職業を通じて社会に奉仕すること。
- ・自分を磨き人を育てること。
- ・自己研鑽の場。
- ・仕事を重視し、社会奉仕が少し疎かになっている気もする。
- ・入会当初は戸惑いあり。
- ・自分の仕事を大切にしながら、奉仕活動、親睦活動を深める。
- ・異業種の集まりで自分を磨くことができる。
- ・会費や出席率等、大変だが勉強にもなる。
- ・年齢差があるため縦の交流がある。
- ・年齢に応じた充実した話ができる。
- ・自分を育ててもらった。
- ・青年会議所の次の場である。
- ・毎週元気が出る。
- ・三世代一緒にいるため、話題が異なり難しい所がある。
- ・時間を大切にする会である。
- ・家庭集会に出ることにより身に付くことがたくさんある。
- ・会話を楽しむ所、友達をつくる所。
- ・貴重な卓話を聞くことができる。異業種の

集まりということで、いろんな分野の卓話が聞けて見聞が広がる。

- ・会長時期前後2年くらいが一番充実していた。人吉ロータリークラブの平均年齢62.9歳（10年前は54.7歳だった。宮山P会長）
- ・毎週異業種の方と話ができる例会が楽しみである。  
→月1回だと希薄になってしまうし、週1回集まると親密度が増す。
- ・国内外クラブとの交流もできる。
- ・職業人の集まりであり、高いレベルの社交性をもつ。
- ・互いの人間性を認め合い一緒に行動する。
- ・異業種の集まりであり、本音で話し合う事が望ましい。
- ・委員会活動などではみんなが助けてくれる。
- ・以前に比べると自分自身社交的になった。
- ・ロータリーは出席を重んじるクラブであり、仕事を調整出来れば積極的にクラブ行事に参加する事。ステータスのみを求めるクラブでは無く個人個人が協力し、クラブを盛り上げる事が必要。

### テーマ2. ロータリーの会員増強（増と強）

- ・義務である。ロータリー入会は手順が良く増強がうまくいっている。
- ・現在、組織増強と退会防止に取り組んでいる。
- ・日本は会員減少傾向にある。
- ・今後も知り合い等へ声かけを行い会員拡大に努めたい。
- ・難しい面もあるが女性会員の拡大も必要。
- ・いろいろな役職に就任し多忙なため、ロータリーへの入会が難しい人も多い。
- ・我がクラブは、量より質をとる。
- ・入会して戴く時に最新の注意を払い入会予定者を傷つけないように。
- ・基本的に会員が明るく楽しいロータリーライフを作ると会員も増える。
- ・人には入会するタイミングがそれぞれあるので素晴らしい人にはフェジーなアプローチをしておく。同業者の情報も参考にする。
- ・ロータリーの精神を明確に説明する必要がある。（最近の情報はライオンズ化されている傾向も見られる）そのためには会員入会にはオリエンテーションが重要だ。形だけの入会になってはいけない。ロータリアンとしての価値を説明する。
- ・ロータリークラブが、どのような活動を行っているかわかり辛い。→もっと広く広

報を。地域へのアピールが必要である。

### テーマ3. ロータリーのここが疑問

- ・出席率の線引きが緩やかである。
- ・寄付団体に近くなってしまっているのでは。
- ・活動は目立つ必要があるのか。
- ・出席率は良いが環境が悪い。例会日の再考をしてもよいのでは。
- ・隔週でもよいのでは。
- ・自分の会社を大事にしてロータリー活動を。
- ・言葉が難しい。
- ・家庭集会の在り方は、歴史であろうが今のままでよいのか。その目的、在り方を検討する段階にきていないか。
- ・会費の支出状況で、会食費・事務局費・クラブ運営費が70~80%を占めているが、見直す視点はないか。
- ・寄付がステータスとなっていないか。
- ・ロータリー用語が、わかり辛い

### テーマ3. 知りたいこと・解らないこと (新人会員より)

- ・出席について一強制するものではない。
- ・それぞれやめたい時期があった。
- ・クラブに入会すると67名の交流が出来るが接待交際費はどうしたらよいのか。
- ・皆さんの体験話から、ロータリーを楽しんでいらっしゃることがよくわかる。入会時、一緒にロータリーを楽しみましょうという方から言っていたが少し意味がわかった。まずは例会に出席すること。難しく考えない。考えれば毎週の例会には出席でけん！私にとってはとてもありがたい言葉だった。

宮原和広会長

皆さんありがとうございました。初めての試みでしたが、私の年度内にあと2回ぐらいこのような場を設けたいと考えております。その時は宜しくお願い致します。

### 【ニコニコ箱委員会】 有馬宏昭委員長

- ・中島会員 武末会員、警察協力功労賞おめでとうございます。 2,000
- ・立山会員 武末会員、警察協力功労者表彰おめでとうございます。長年にわたり地域社会のためにご苦勞される姿にロータリアンとして心から敬意を表し、共に活動できることを誇りに思います。 2,000
- ・中川会員 武末パスト会長、警察協力功労

- 者表彰おめでとうございます。 1,000
- ・武末会員 警察協力功労賞の感謝状をいただきました。 5,000
  - ・有村会員 本日米山功労者の表彰を受け、数日前商工会議所議員として勤続30年以上の表彰を受けましたので一緒にスマイルします。 2,000
  - ・堤正博会員 武末憲一さんがこの度警察協力功労賞を受賞されました。心からお祝い申し上げます。 2,000
  - ・岩本泰典会員 何かのピンを貰いました。何時寄付したのか憶えてませんが一。 2,000
  - ・浦田会員 武末会員の警察功労者賞、誠におめでとうございます。 2,000
- ニコニコ・ごめんねカード9/9合計18,000

#### 【R財団寄付カード】 伊久美寛志副委員長

- ・武末会員 警察協力功労賞を県警本部長より感謝状をいただきました。 \$100
- ・和田会員 赤池会員、岩本会員のマルチプル・ポール・ハリス・フェロー、有村会員の米山功労賞、おめでとうございます。 \$25
- ・伊久美会員 皆さんに寄付をお願いしておりますので自分から行ないます。 \$100

点 鐘 宮原和広会長

#### 9・11を乗り越えて

クラブを支え続けてきたクラブ会長



2001年7月1日、私は、92年間の歴史あるニューヨーク・ロータリー・クラブで初の女性会長に就任しました。盛大な就任式では、ニューヨーク市警の先導に続いて「ニューヨーク、ニューヨーク」を歌いながら行進しました。この記念行事がその年で一番の行事となるはずでした。ところが、同年9月11日、同時多発テロ事件が起きたのです。・・・

事件の起きた日の朝、私はブルックリンのアパートにいました。電話をかけてきた娘から言われるままにテレビを付けると、2機目の飛行機がビルに衝突するのが見えました。その日、家族はちょうど別の街にいましたが、ロータリー・クラブの仲間があの世界・トレード・センターにいたかもしれないと心配になりました。ニューヨークにたった一人で滞在していた私はとても心細くなりました。あれほど孤独に感じたことはありません。

すぐにコンピューターを立ち上げると、ロータリー・クラブからのメールが次から次へと入ってきました。レバノン、イギリス、イスラエル、フランスなど、世界中のロータリアンからのメッセージです。「何かできることはないか」と尋ね

てくれました。時差のある国から入ってくるメールにも応じながら、何日も費やしました。寝る時間はほとんどなかったと思います。

当時クラブにいた185名の会員は幸運にも全員無事でした。緊急例会を招集したとき、こんな事態で例会に来てくれるだろうか心配していましたが、全員が集まりました。クラブ会長である私の役割はできる限り皆を安心させ、希望を与えること。子どもの頃、第二次大戦中に学校で空襲の非難訓練があったときも、歌を歌ってクラスメートを元気づけました。今回のテロ直後も同じように、クラブの仲間を励まさなければと感じていました。

クラブでは、会員以外にも、テロの被害者や消防士、家族を亡くした人々を温かく迎え入れました。例会でいつも愛国的な曲を流し、励まし合いながら、支援を提供する側の会員たちも勇気づけられました。インターネットでは、ニューヨーク現地の状況を伝えながら、義援金の使い道を説明しました。会員一人ひとりも、それぞれのスキルを生かしてボランティア活動に当たりました。グラウンド・ゼロで犠牲者の身元確認作業を助けた法医学専門の歯科医。現場で外気の検査を行った肺病予防団体の役員。ボランティアたちに飲み水を届けようとトラックを手配した運送業者の経営者。85歳のある会員は炊き出しを手伝いました。

集まった義援金については委員会が提供先を決めました。最も緊要に支援を必要としている人々を探し出し、資金を割り当てていったのです。親を亡くした子どもの面倒を見る人々、介護者をなくした人々などさまざまです。また、ミシガン州のロータリー・クラブと協力して、8組の母子家庭に1年間、家計を援助し、励ましの手紙を送り続けました。事件直後にグラウンド・ゼロで昼夜休まず働き続けた消防士や警官へも何かしてあげたいとの思いから、週末に家族でゆっくり旅行できるようナンタケット島の家を貸し切りしました。新婚の消防士とその妻をニュージーランドやイギリスへも送り出しました。旅行先では現地のロータリアンによる手厚くもてなしがありました。中にはこの休暇旅行の案内をもらって涙を流した消防士もいたと聞いています。

テロ事件の年にニューヨーク・クラブの会長だったとは大変でしたね、と声をかけられます。私はそうは思いません。むしろ、あのとき、あの役職に就いていたことに感謝しています。自分の持てる技能を生かして物事を取りまとめ、人を励ますことができました。ある男性会員の言葉が今でも忘れられません。「9・11事件後にあれだけのことが出来たのは、クラブ中を見渡しても君しかないよ」と。以来、クラブにはほかにも多くの女性会員が入会しました。その多くは若い会員です。今は新会員のメンターとして指導役に当たっています。とてもやりがいがあります。彼らの意欲を高め、ロータリアンであることを誇りに思ってもらえれば、これほど嬉しいことはありません。